

第70回 全国学芸サイエンスコンクール

スタートアップ部門

[対象／小学生、中学生、高校生]

旺文社主催／文部科学省・環境省・経済産業省・こども家庭庁(予定)後援『全国学芸サイエンスコンクール』は、全国の小学生・中学生・高校生の研究・アートおよび、文芸の復興奨励と、その個性の育成を目的に、各界各方面からご賛同とご支援をいただき、今年度で第70回を迎えます。全13部門の1つ「スタートアップ部門」では、昨今のめまぐるしく変化する社会において重要なアントレプレナーシップ教育を視野に入れ、子どもたちが思い描く柔軟で革新的なアイデアを募集しています。

失敗を恐れず未来に向かってチャレンジする第一歩になればと願っております。

ご後援をいただいている文部科学省(予定)では、小・中学校、高等学校等に、ビジネスや教育現場等で活躍する「アントレプレナーシップ推進大使」(文部科学大臣任命)の派遣を行っています。アントレプレナーシップ推進大使派遣事業につきましても、ぜひご活用いただき「総合的な学習の時間」「総合的な探究の時間」等の活動の一環として当コンクール(スタートアップ部門)にもご参加ご応募いただければ幸いです。

▶ 実施概要

【部門名】スタートアップ

【審査形式】一次審査:書類(企画書)／二次審査:プレゼンテーション動画

【応募期間】2026年6月1日(月)～9月24日(木)

【対象】小学生(4年生以上)、中学生、高校生

【テーマ】小学生、中学生、高校生共通

①地域活性化ビジネス

②社会・環境問題解決ビジネス

③未来の学校・教育ビジネス

④その他のテーマでのスタートアップアイデア

【後援】文部科学省、環境省、こども家庭庁(予定)

【表彰式】オークラ東京(予定) 2027年3月5日(金)

【賞】「文部科学大臣賞(1名)」、「旺文社ベンチャーズ社長賞(1名)」他

▶ 応募規定

〈共通〉

- 小学4年生～高校3年生
- 同一部門での応募は、1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したものの、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
- グループなどで共同制作した作品の応募も可能。グループの人数制限はなし。クラス単位での応募も可能。グループでの応募の場合は、作品の巻末にグループ名と制作者全員の氏名、指導した先生名を明記してください。指定の応募用紙・応募票への入力について、

Web エントリーのユーザーズマニュアルをご確認ください

- PDFやJPEGなどの電子データで送付(紙でも受付可能。用紙のサイズ指定はなし)。
- 学校応募の場合、提出作品をフォルダにまとめ、フォルダを圧縮したzipファイルで提出すること(フォルダ名は学校名にすること)。
- 指定フォーマットの使用は自由。指定フォーマットを使用しない場合は、表紙に学校名、学年、氏名、作品名を記載すること。

※指定フォーマットは下記URL(全国学芸サイエンスコンクールホームページ)よりダウンロードできます。

<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>



〈テーマ〉

小学生の部	中学生の部／高校生の部
テーマ①：地域活性化ビジネス	
自分の住む町に「こんなお店があったらいいな」「こんな施設があったらいいな」「こんな街並みにしたい」などがより魅力を感じる町、より大好きな町、より人に愛される町などを想像してください。そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	自分の住む街をより良く活性化させるビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
テーマ②：社会・環境問題解決ビジネス	
いま、世の中では何が起きているのか。日頃、自分が感じている疑問や不安に思うことなどを思い起こしてください。その思い起こしたことを自分事として捉え、解決するには何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	いま、世の中で起きている様々な問題を解決するためのビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
テーマ③：未来の学校・教育ビジネス	
「こんな学校だったらいいな」「こんな授業があるといいな」「こんなこと学びたいな」など、自分がより学べる、毎日通いたくなる、楽しくなる学校や学習法などを想像してください。そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	みんなが通いたくなる(入学したくなる)素敵な学校モデルやより学べる仕組みや新しい学習法等のビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
テーマ④：その他のテーマでのスタートアップアイデア	
①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあっていいな」「こんなサービスがあったらいいな」などを想像してください。そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあっていいな」「こんなサービスがあったらいいな」等、ビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

▶ 審査基準

	一次審査(企画書) ※一次審査通過者のみ動画を提出する。	最終審査(動画)
小学生の部	着眼点、着想力、構成力、訴求力 着眼点：テーマが決まっている場合での着眼点は、企画内容の中の「目のつけどころ」を審査する。テーマが決められていても審査に影響はない。	プレゼンテーション力 (プレゼンテーションは5分以内)
中学生の部 高校生の部	着眼点、着想力、構成力、訴求力、収益性 着眼点：テーマが決まっている場合での着眼点は、企画内容の中の「目のつけどころ」を審査する。テーマが決められていても審査に影響はない。	

▶ 応募締切から結果発表までのスケジュール

	9月	10月	11月	12月
応募期間				
締切9月24日				
		一次審査 結果通知	最終 審査	結果 発表
		10月下旬(予定)	11月末(予定)	12月中旬(予定)
		プレゼン動画 提出期間		
		締切11月中旬(予定)		

〈作品返却について〉

作品返却は原則いたしません。 必要に応じてコピーや写真をとっておいてください。

〈応募作品の著作権について〉

入賞作品を含むすべての応募作品の著作権は、応募者(作者)に帰属します。

ただし、応募者は、応募の時点で、主催者(旺文社)が応募作品について作品集、ホームページ、動画集などへの掲載等を含む当コンクール事業に関する利用を行うこと、および当コンクール事業に関して旺文社の取引先および新聞社等を含む第三者に対し利用させることを許諾するものとします。

また、主催者(旺文社)は、上記利用にあたり必要な範囲での改変、翻案および編集等を行い、必要な範囲で方法・媒体を問わず利用できるものとします。

なお、当コンクール事業以外の利用については別途応募者(作者)ご承諾のうえで行います。

〈個人情報の取り扱いについて〉

応募の際に提供された個人情報(氏名、学校名、学年、年齢、住所、電話番号等)は、コンクール運営業務(審査、本人確認、受賞および表彰式等)に関するご連絡、受賞者の発表、作品集への掲載、作品集および参加賞等の発送、作品の返送、アンケートの実施、次年度開催に関するご連絡等の目的以外では使用されることは一切ありません。

なお、作品集への掲載は、原則として氏名、学校名、学年(別途ご提供いただいた情報がある場合はこれを含みます)となります。また、旺文社はコンクール運営のために個人情報の取扱いを委託することがあります。

お送りいただいた個人情報の取扱いについては、旺文社ホームページに掲載の旺文社の個人情報保護方針をご参照ください。

〈企画書の送付先〉

- 郵送の場合 〒162-8680 東京都新宿区横寺町55 株式会社 旺文社
全国学芸サイエンスコンクール事務局「スタートアップ部門」
- 電子データの場合 Eメール：startup@obunsha.co.jp
※「スタートアップ部門」以外はEメールでの作品応募はできません。

アントレプレナーシップ推進大使派遣

あなたの学校に、教育・ビジネス現場で活躍する方々を派遣します！

社会とつながる学びが、子供の未来を広げる。
教育・ビジネス現場で活躍する方々のリアルな声にふれ、
自分らしい“チャレンジ”を考える機会を届けます。

文部科学省は、小・中学校、高等学校等へのアントレプレナーシップ教育を推進する機運を全国的に高めるため、希望する全国の小・中学校、高等学校等に、ビジネスや教育現場等で活躍する「アントレプレナーシップ推進大使」（文部科学大臣任命）の派遣を行います。

文部科学省では、アントレプレナーシップを「新たな価値を生み出していく精神」と捉え、自ら社会課題を見つけ、課題解決にチャレンジし、他者と協働しながら解決策を探究したりすることができる知識・能力・態度を身に付ける教育をアントレプレナーシップ教育と位置付けています。様々な課題に直面する現代社会において、若い世代からアントレプレナーシップを育む重要性が増しています。

本取組を通じて、児童・生徒が起業やチャレンジを身近なものに感じ、積極的に行動することができるようになることを目指します。

また、令和8年度からは、教職員を対象とした派遣も対象としております。詳細は、以下をご確認ください。

概要

支援対象 ①小中高生等を対象とした、大使による講演等の実施を希望する全国の小・中学校、高等学校等
②小中高校等の教職員を対象とした、大使による講演等の実施を希望する全国の小・中学校、高等学校等
および教育委員会(2026年度新設)

※「小・中学校、高等学校等」とは、学校教育法第一条に定められた学校のうち、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校及び大学並びに学校教育法第一二四条に定められた専修学校を指します。

支援対象学年 ①小学1年生～6年生／中学1年生～3年生／高校1年生～3年生／高専1年生～3年生 等
②小中高校等の教職員

実施形式 対面またはオンライン
所要時間 最大3回まで

- 60分以内の講演等 = 1回
- 61分以上120分以内の講演等 = 2回
- 121分以上180分以内の講演等 = 3回

費用 無償 ※派遣に伴う大使への謝金・旅費は事務局が負担いたします。

申込方法

HPより申込

受付期間(令和8年度)

一次募集：2026年4月17日～6月30日(予定)

二次募集：2026年7月1日～9月30日(予定)

※受付状況によっては、申込期間中であっても申込を終了する場合があります。

上限に達しない場合は期間を延長して募集します。

ページ内の申込フォームより、必要事項をご入力ください。

推進大使派遣の調整にあたり、以下のような情報をご記入いただきます。

- 学校名、所在地、担当者情報、開催希望日・時間・場所
- 対象となる学年・人数・実施形態(対面/オンライン)
- 希望する講義のテーマや大使の希望
- 本事業の実施目的や、過去の取り組み状況 など

〈お問い合わせ先〉

全国アントレプレナーシップ推進大使派遣事務局
電話番号：03-5840-7939(平日10:00～17:00)



アントレプレナーシップ推進大使派遣事業の概要

支援対象 ①小中高生等を対象とした、大使による講演等の実施を希望する全国の小・中学校、高等学校等
②小中高校等の教職員を対象とした、大使による講演等の実施を希望する全国の小・中学校、高等学校等および教育委員会(2026年度新設)

※「小・中学校、高等学校等」とは、学校教育法第一条に定められた学校のうち、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校及び大学並びに学校教育法第一二四条に定められた専修学校を指します。

支援対象学年 ①小学1年生～6年生／中学1年生～3年生／高校1年生～3年生／高専1年生～3年生 等
②小中高校等の教職員

※対象校しくは教育委員会等の単位で、随時学校の申し込み可

派遣大使の紹介

派遣事例

アントレプレナーシップ推進大使派遣のSTEP

お申し込みから、講演・授業の実施まで下記のSTEPで実施いたします。

HPより申込



ページ内の申込フォームより、必要事項をご入力ください。
推進大使派遣の調整にあたり、以下のような情報をご記入いただきます。
・学校名、所在地、担当者情報、開催希望日・時間・場所
・対象となる属性・人数・実施形態(対面/オンライン)